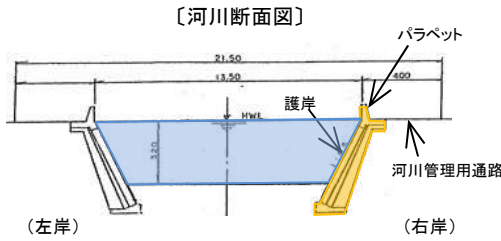


平瀬川護岸改修事業について

1 護岸変状について

- 平成28年4月、老朽化した護岸の補修工事中に河川管理用通路が沈下する変状が発生し、その後、護岸等の変状を確認



〔河川管理用通路の状況〕
パラペットのズレ(最大10cm)

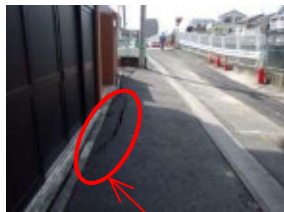


〔護岸の状況〕

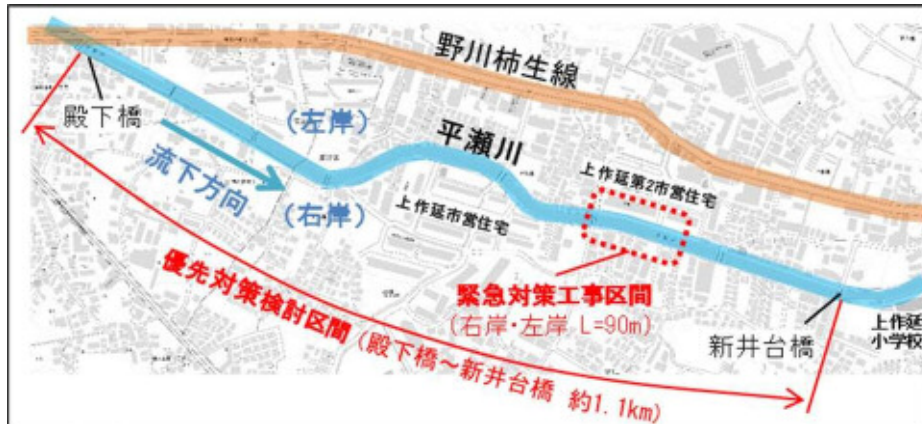


護岸の変状
(ブロック隙間の拡大)

〔河川管理用通路の状況〕



歩道部にひび割れが発生
(沈下最大10cm)



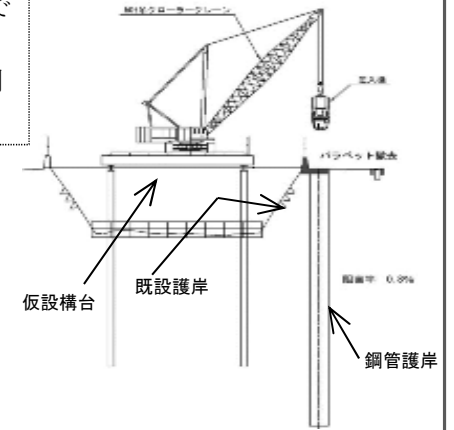
2 緊急対策工事の実施について

- 変状箇所について、平成28年度補正予算で緊急対策工事(右岸)を実施中(2年債務)
- 平成30年3月右岸側工事の完成後、左岸側に着手する予定(平成29年度～30年度)

〔工事状況〕



〔工事イメージ図(右岸側)〕



3 優先対策検討区間

- 緊急対策工事区間の周辺でも、護岸ブロックの老朽化や河床洗堀などによる施設損傷などが各所に見られ、かつ、家屋が近接しているため、護岸等の変状に伴う民地側への影響が大いに懸念されることから、殿下橋～新井台橋(約1.1km)を優先対策検討区間と設定し、改修事業計画の検討を開始
- 施設健全度を調査した結果、下流側の別所橋～新井台橋間750mについて、老朽化が顕著なため、機能支障等が生じる可能性が高いことから、改築・更新が必要な状況

【平瀬川1.1km区間の健全度調査結果】



4 今後の対応

- 優先対策検討区間について、対策手法の選択をはじめ、優先度の検討を進め、改修事業計画の策定を推進する。